

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GS エマージング通貨債券ファンド（米ドル売り円買い）」は、このたび、第80期～第85期の決算を行いました。本ファンドは、エマージング諸国の現地通貨建て債券への分散投資を通じて、相対的に高い金利収入と長期的な通貨価値の上昇を捉えることをめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第85期末（2023年12月22日）		第80期～第85期	
基準価額	5,449円	騰落率	0.8%
純資産総額	4,182百万円	分配金合計	180円

（注）騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付できる旨が定められております。運用報告書（全体版）は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択



交付運用報告書

GS エマージング通貨債券ファンド （米ドル売り円買い）

追加型投信／海外／債券

第80期（決算日2023年7月24日）
第81期（決算日2023年8月22日）
第82期（決算日2023年9月22日）
第83期（決算日2023年10月23日）
第84期（決算日2023年11月22日）
第85期（決算日2023年12月22日）

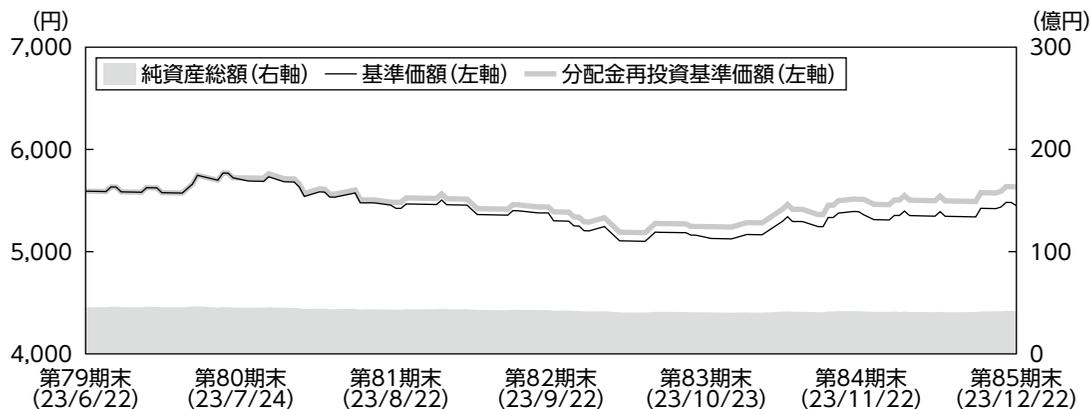
作成対象期間：2023年6月23日～2023年12月22日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先：03-6437-6000（代表）
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について (2023年6月23日～2023年12月22日)



第80期首：5,591円

第85期末：5,449円

(当作成期中にお支払いした分配金：180円)

騰落率：+0.8% (分配金再投資ベース)

- (注1) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、当作成期(以下、「当期」といいます。)の期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の5,591円から142円下落し、期末には5,449円となりました。

上昇要因

現地通貨建てエマージング債券市場(現地通貨ベース)のトータル・リターンがプラスであったこと、保有している債券からのクーポン収入などが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

分配金をお支払いしたことなどが基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第80期～第85期		項目の概要
	2023年6月23日～2023年12月22日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	28円 (1)	0.511% (0.028)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(25)	(0.467)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
その他費用 (保管費用)	2 (1)	0.029 (0.010)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に関するその他の諸費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(1)	(0.017)	
合計	30	0.540	

期中の平均基準価額は5,423円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

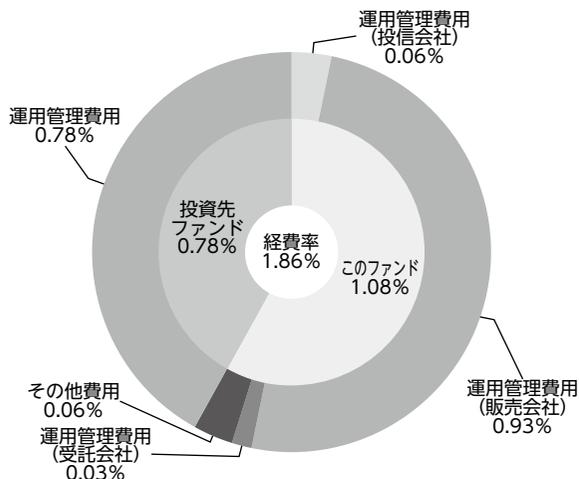
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.86%です。



経費率 (①+②)	1.86%
①このファンドの費用の比率	1.08%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.78%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

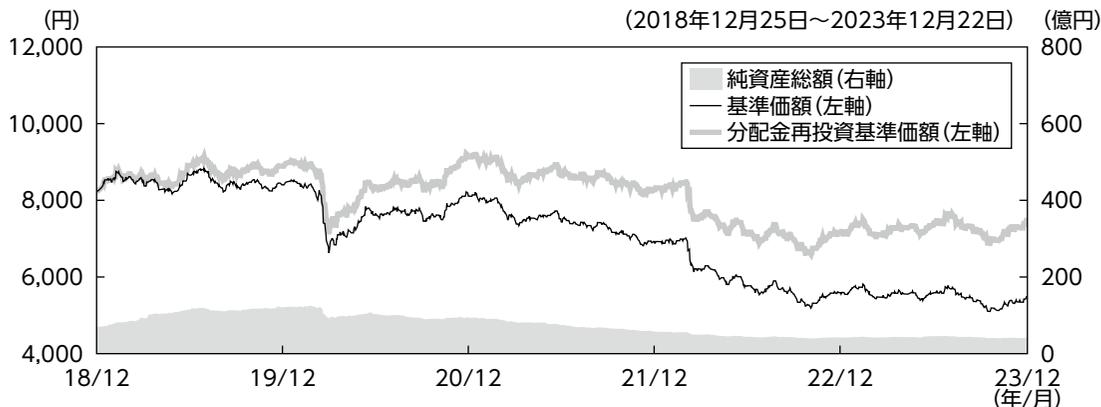
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2018年12月25日の基準価額を起点として指数化しています。

(注4) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

最近5年間の年間騰落率

	2018/12/25 決算日	2019/12/23 決算日	2020/12/22 決算日	2021/12/22 決算日	2022/12/22 決算日	2023/12/22 決算日
基準価額(分配落) (円)	8,249	8,401	8,109	6,884	5,556	5,449
期間分配金合計(税引前) (円)	—	480	480	480	390	360
分配金再投資基準価額騰落率	—	7.8%	2.8%	-9.4%	-13.8%	4.7%
純資産総額(百万円)	6,985	12,089	9,370	5,715	4,184	4,182

(注1) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

(注3) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 投資環境について

<エマージング債券市場>

当期の現地通貨建てエマージング債券市場は上昇しました。期の前半は、中国の経済や不動産を巡る懸念に加え、米国における高金利の長期化観測などが嫌気され、軟調に推移しました。期の後半は、米国の利上げ終了観測が強まり、投資家のリスク選好度が高まったことなどから上昇し、現地通貨建てエマージング債券市場は前期末を上回る水準で期を終えました。国別では、ハンガリーやエジプトなどの上昇が目立った一方、トルコやフィリピンなどが下落しました。

<エマージング通貨市場>

当期のエマージング通貨市場は、対米ドルでは通貨毎に乖離が生じ、ポーランド・ズロチやコロンビア・ペソなどが相対的に堅調となった一方、トルコ・リラなどが相対的に軟調となりました。ポーランド・ズロチは、総選挙で親EU（欧州連合）派である野党勢力が過半数議席を獲得したことなどが市場で好感されたほか、中央銀行が市場予想に反して政策金利を据え置いたことなどが下支えとなりました。一方、トルコ・リラは、インフレ率が高水準であることや、中央銀行が利上げサイクルの終了を示唆したことなどが重石となりました。

<短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1ヵ月は期首の5.0%から3.7%まで低下して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、当期を通じてゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオを概ね高位に組入れることによって、エマージング諸国の現地通貨建て債券に分散投資を行うとともに、外貨建資産については、原則として米ドル売り円買いの為替予約取引を行い、米ドルに対するエマージング通貨の上昇機会を追求し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

・組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、米ドルベース）

ファンド名	騰落率
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ ^{*1}	4.6%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド ^{*2}	2.7%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- *1 ルクセンブルク籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ I Xシェアクラス
- *2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー-ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド インスティテューショナル・アキュムレーション・シェアクラス

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオ>

期首においては、ポーランドやチェコの現地通貨建て債券のほか、シンガポール・ドルや台湾ドルといった通貨などに対して相対的に強気のポジションを取った一方、イスラエルやチリの現地通貨建て債券のほか、トルコ・リラやチリ・ペソといった通貨などに対して相対的に弱気のポジションを取りました。期末においては、チェコや中国の現地通貨建て債券のほか、シンガポール・ドルやポーランド・ズロチといった通貨などに対して相対的に強気のポジションを取った一方、メキシコやコロンビアの現地通貨建て債券のほか、中国人民元や南アフリカ・ランドといった通貨などに対して相対的に弱気のポジションを取りました。

上記のような運用の結果、当期のパフォーマンス（米ドルベース）は、ベンチマークであるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）を上回りました。

当期は、トルコや中国などの現地通貨建て債券のポジション、ブラジル・レアルなどの通貨ポジションがプラス寄与となりました。一方、チリやコロンビアなどの現地通貨建て債券のポジション、中国人民元などの通貨ポジションがマイナス寄与となりました。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第80期から第85期は各30円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期
	2023年6月23日 ~2023年7月24日	2023年7月25日 ~2023年8月22日	2023年8月23日 ~2023年9月22日	2023年9月23日 ~2023年10月23日	2023年10月24日 ~2023年11月22日	2023年11月23日 ~2023年12月22日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.524	0.550	0.563	0.582	0.557	0.548
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	4,556	4,592	4,630	4,666	4,700	4,728

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続きゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオの組入れを高位に保ち、エマージング諸国の現地通貨建て債券に分散投資を行うとともに、原則として米ドル売り円買いの為替予約取引を行い、米ドルに対するエマージング通貨の上昇機会を追求し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオ>

現地通貨建てエマージング債券市場について、各国の金融政策や景気後退リスクに加え、地政学的な不確実性が今後の新興国債券市場の注目点になるとの見方を行っています。足元は、中東情勢の緊迫化による他国・他セクターへの波及効果や市場ボラティリティが高まる可能性などを見極める必要があると考えます。引き続き先進国の政策による新興国市場への影響も注視する方針です。このような環境下では、各国のファンダメンタルズなどを精査しつつ、ポジションを構築することが重要と考えます。

当社では、エマージング通貨については、シンガポール・ドルやポーランド・ズロチなどを強気に見る一方、中国人民元や南アフリカ・ランドなどを弱気に見ています。シンガポール・ドルについては、経常収支が黒字であることなどが下支えになる可能性を見込み、強気に見ています。中国人民元については、経済指標が強弱混在しており、依然として先行き不透明感が高いことなどから弱気に見ています。現地通貨建て債券については、チェコや中国などを強気に見る一方、メキシコやコロンビアなどを弱気に見ています。チェコについては、インフレが減速していることなどから強気に見ています。一方、メキシコについては、経済が想定よりも堅調であることなどを背景に当面は利下げの可能性は低いとの見方から弱気に見ています。

今後も引き続き運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

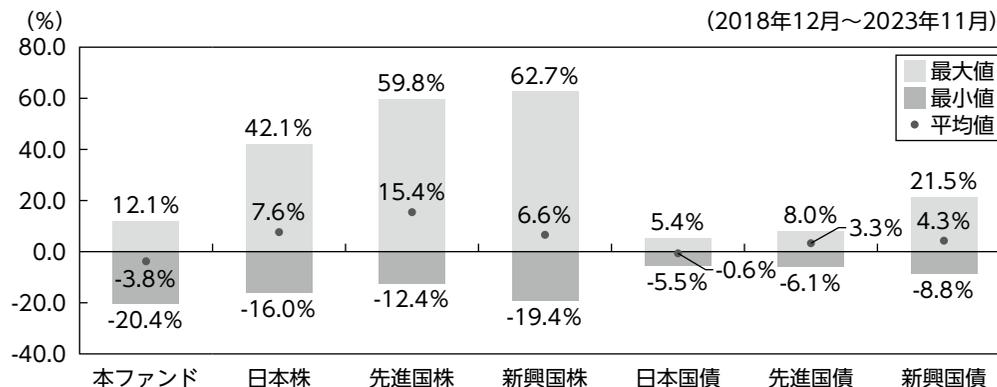
(上記見通しは2023年12月22日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2028年3月22日まで
運用方針	エマージング諸国の現地通貨建て債券を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	エマージング諸国の主に現地通貨建て債券
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として米ドル売り円買いの為替予約取引等を行います。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月22日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2018年12月から2023年11月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

□東証株価指数 (TOPIX) の指数値および東証株価指数 (TOPIX) に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他の者 (以下総称して「MSCI当事者」といいます) は、MSCIの情報について一切の保証 (独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません) を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害 (逸失利益を含みます) およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容 (2023年12月22日現在)

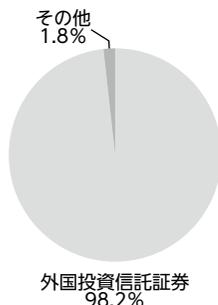
○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

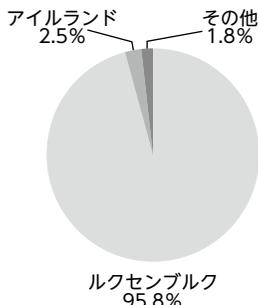
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	95.8%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.5%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

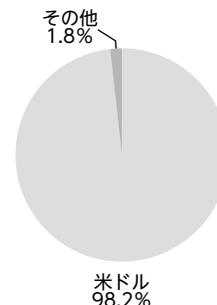
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注1) 上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

■ 純資産等

項目	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末
	2023年7月24日	2023年8月22日	2023年9月22日	2023年10月23日	2023年11月22日	2023年12月22日
純資産総額	4,514,051,464円	4,317,033,506円	4,220,970,606円	4,053,681,161円	4,149,106,292円	4,182,735,313円
受益権総口数	7,932,328,113口	7,959,471,368口	7,961,309,383口	7,903,847,139口	7,740,274,907口	7,675,692,493口
1万口当たり基準価額	5,691円	5,424円	5,302円	5,129円	5,360円	5,449円

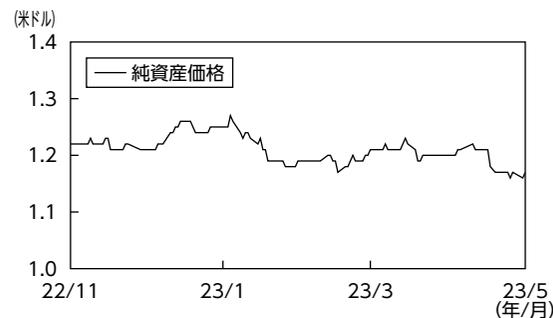
(注) 当作成期首元本額は8,152,766,405円、当作成期間(第80期～第85期)中において、追加設定元本額は304,510,549円、同解約元本額は781,584,461円です。

組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ> (2023年5月31日現在)

* 2023年12月22日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2022年12月1日~2023年5月31日)



* I Xシェアクラスの純資産価格

○費用明細 (2023年5月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
当座借越支払利息	604
投資顧問報酬	2,642,893
保管費用	267,832
管理事務代行報酬	116,732
販売報酬およびサービシング報酬	13,722
名義書換事務代行報酬	43,087
年次税	52,708
監査報酬	10,301
管理会社報酬	48,802
取締役報酬	3,450
弁護士報酬	9,167
保険費用	5,719
印刷費用	12,122
出版費用	3,172
税務報告報酬	13,025
支払代理人報酬	8,152
規制報告報酬	27,226
その他費用	46,755
	<u>3,325,469</u>
費用合計	<u>3,325,469</u>

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

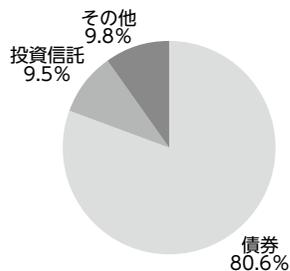
	銘柄	種別	通貨	比率
1	Goldman Sachs US\$ Treasury Liquid Reserves Fund (X Distribution Class)	投資信託	USD	9.5%
2	Brazil Letras do Tesouro Nacional	債券	BRL	5.4%
3	United States Treasury Bill	債券	USD	3.9%
4	Brazil Notas do Tesouro Nacional—Series F	債券	BRL	3.1%
5	Indonesia Treasury Bond—Series FR71	債券	IDR	2.5%
6	Indonesia Treasury Bond—Series FR80	債券	IDR	2.3%

(組入銘柄数: 114銘柄)

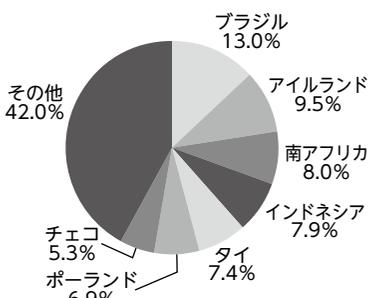
	銘柄	種別	通貨	比率
7	Mexican Bonos—Series M 30	債券	MXN	2.3%
8	Brazil Notas do Tesouro Nacional—Series F	債券	BRL	2.0%
9	Poland Government Bond—Series 425	債券	PLN	1.9%
10	Peru Government Bond	債券	PEN	1.7%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

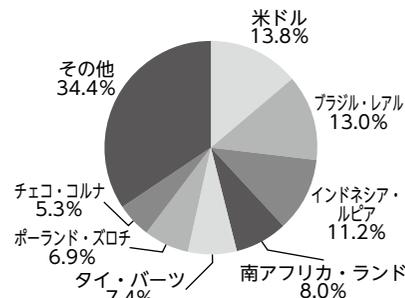
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

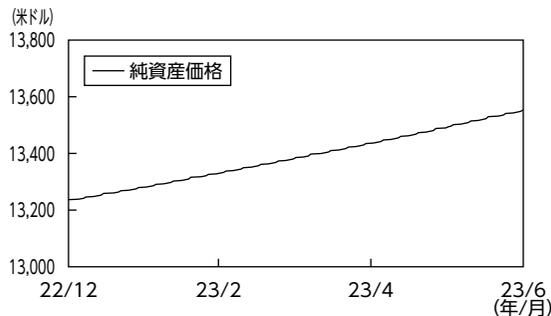
(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2023年6月30日現在)

* 2023年12月22日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2023年1月1日~2023年6月30日)



* インスティテューショナル・アキュムレーション・シェアクラスの純資産価格

○組入上位10銘柄

順位	銘柄	種別	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo	現先取引	5.2%
2	United States Treasury Floating Rate Note	国債	3.8%
3	Wells Fargo Securities LLC Repo	現先取引	3.1%
4	United States Treasury Bill	国債	3.0%
5	BofA Securities Repo	現先取引	2.6%
6	United States Treasury Bill	国債	1.9%

○費用明細 (2023年6月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
投資顧問報酬	42,361,347
管理会社報酬	2,176,932
管理事務代行報酬	698,330
保管費用	908,770
販売報酬	1,654,750
名義書換事務代行報酬	280,520
監査報酬	8,151
取締役報酬	6,047
弁護士報酬	20,925
保険費用	82,131
印刷費用	16,472
その他費用	264,444
費用合計	48,478,819
投資顧問報酬調整額	(4,384,235)
運用費用合計	44,094,584

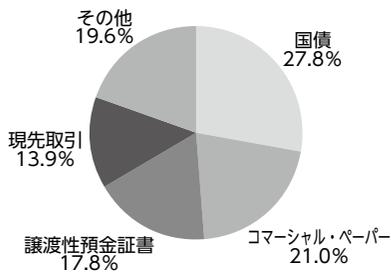
(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

(組入銘柄数: 174銘柄)

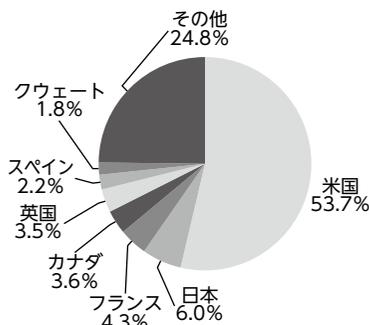
順位	銘柄	種別	比率
7	National Bank of Kuwait	譲渡性預金証書	1.8%
8	United States Treasury Bill	国債	1.8%
9	United States Treasury Bill	国債	1.7%
10	Federal Home Loan Banks	国債	1.7%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

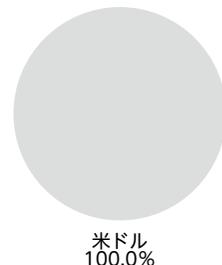
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。